

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 106-0032  
所在地 東京都港区六本木四丁目3番11号 六本木ユニハウス2  
23号

評価機関名 サポート・ネット 株式会社

認証評価機関番号

機構 13 - 220

電話番号 03-5655-0851

代表者氏名 三田村 雅敏

以下のとおり評価を行いましたので報告します。



評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		修了者番号
	①	三田村 雅敏	H0202033
②	木村 麻美子	H2101086	
③			
④			
⑤			
⑥			
福祉サービス種別	認可外保育施設(ベビーホテル等)		
評価対象事業所名称	プレイキッズ保育園一之江		
利用形態(複数選択可) (該当する形態を選択)	<input checked="" type="checkbox"/> 月極保育 <input type="checkbox"/> 時間預かり(一時預かり)保育		
事業所連絡先	〒	132-0024	
	所在地	東京都江戸川区一之江8丁目11番1号 一富第二ビルディング1階	
	TEL	03-5879-4085	
事業所代表者氏名	山崎 博		
契約日	2024年	6月	26日
利用者調査票配付日(実施日)	2024年	9月	30日
利用者調査結果報告日	2024年	11月	11日
自己評価の調査票配付日	2024年	7月	16日
自己評価結果報告日	2024年	11月	13日
訪問調査日	2024年	11月	19日
評価合議日	2024年	11月	19日
コメント (利用者調査・事業評価の 工夫点、補助者・専門家 等の活用、第三者性確保 のための措置などを記入)	事業者の組織価値観に基づいて組織変革を促進し、独自の強みを発揮できる特徴的な組織として認識されるための課題を確認することを目的に、第三者評価制度の実施を位置づけています。本評価では、事業者の事業特性と事業環境、および組織の状態に基づき導出した、事業競争力の強化につながる重要方針について事業者と評価者とが共有しました。評価者はそれぞれの専門的観点を持って、重要方針に基づく評価の視点を明らかにし、全てのカテゴリーにわたる取り組みとその状態について評価しました。		

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2025年 / 月 31 日

事業者代表者氏名

五味 伸行



1	<b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b>
	<p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 子ども達だけでなく、ご家族と従業員が笑顔でいられる場所にする</li><li>2) 子ども達がいつも笑顔と思いやりをもてるようにする</li><li>3) 子ども達が自ら考え、行動する姿勢をもてるようにする</li><li>4) 子ども達がのびのびと楽しめるようにする</li></ol>
2	<b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b>
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自主性： 与えられた仕事だけでなく、園全体として何をすればよいか考えて行動する人間</li><li>・創造性： これまでの慣習にとらわれず、新しい遊びや仕組みを作り出す人間</li><li>・受容性： いろいろな家庭環境や保護者の考えがあることを理解した上で家庭支援ができる人間</li></ul>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>小さな子ども達の成長を家族の方と一緒に支えていくことにより、社会の未来を育てていくという気持ちをもつこと</p>

調査対象	事業所と協議し、当事業所の利用者の内、月極契約利用者を対象に、アンケート調査を実施しました。		
調査方法	登降園時に来園された保護者に対し、職員が第三者評価の説明とともに挨拶文とアンケート用紙、返信用封筒を手渡しで配布しました。回答票は、返信用封筒で直接評価機関に郵送していただくよう説明し、事業所の介入の可能性をなくす工夫をしました。		
利用者総数	28		
利用者家族総数(世帯)	27		
共通評価項目による調査対象者数	27		
共通評価項目による調査の有効回答者数	18		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	66.7		

利用者調査全体のコメント

「はい」の選択率が約9割(22世帯中19世帯)以上の項目は、問17. 以外全ての項目に渡っており、特筆すべきは、問9. と、問17. 以外の各項目は約6割以上が「はい(大変満足)」を選択していました。  
 総合満足度について、22世帯全てが「満足」を選択しました(内訳: 大変満足 77.3%、満足 18.2%、やや満足 4.5%)。また、自由意見欄の選定理由として「園の理念・保育方針が良い」旨の意見が目立ち、良い点として「子ども一人一人と向き合い、主体性を伸ばす保育を行っている」旨の意見が散見されました。自由意見欄には、満足度の高いコメントが多数寄せられたとともに、改善期待度のコメントも寄せられたことから、保護者の園に対する満足度や信頼度、期待度はとても高いことが見受けられます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育施設での活動は、子どもの心身の発達に応じたものとなっているか	18	0	0	0
回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳: 大変満足(83.3%)、満足(11.1%)、やや満足(5.6%)〕。 「年齢や発達に合わせた遊びの提供をしてくれている」「本物の野菜を見せたり、実験のようなことをやっていただいたりし、とても素敵な取り組みだと思う」「季節や行事に合わせて色々な製作を行うなど、とてもありがたい」などたくさんの意見が寄せられました。回答の全数が「はい」を選択し、8割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度は非常に高いことが見受けられます。				
2. 保育施設での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	18	0	0	0
回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳: 大変満足(77.8%)、満足(22.2%)〕。 「室内遊びや水遊び、英語やリズムックがあり、子ども達が楽しんでいるのを感じている」「手作り、発達に寄り添ったおもちゃが多い」「活動が充実している」「自宅でも保育園で経験した事を真似してやる事が増えて来て、親としてもとても嬉しい」などの意見が寄せられました。回答の全数が「はい」を選択し、ほぼ8割が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度は非常に高いことが見受けられます。				
3. 【保育施設からの食事提供を受けている方のみ】 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	17	1	0	0
食事提供を受けている回答者数18世帯中17世帯(94.4%)が「はい」を選択しました〔内訳: 大変満足(61.1%)、満足(33.3%)〕。 「毎日変化があって、栄養満点なメニューなので、助かっている」「子どもの成長に合わせ、行事に合わせたメニューにして下さる事もあり、親も今日は何のメニューなのか見るのが楽しみ」「おやつも手作りしてくださっている」などの意見が寄せられました。回答の全てが「はい」を選択し、6割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。				

4. 保育施設の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	18	0	0	0
<p>回答者数18世帯の全てが「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(55.6%)、満足(38.9%)、やや満足(5.6%)〕。  「雨天以外は外に連れてもらっていて、本人も外遊びが大好きになった」「外遊び、水遊びや外部講師を招いていただき、満足している」「自然や社会と沢山、関わる機会を設けていただいている」などの意見が寄せられました。回答の全てが「はい」を選択し、ほぼ6割が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	15	1	0	2
<p>回答者数18世帯中15世帯(83.3%)が「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(66.7%)、満足(16.7%)〕。  「急な時間変更やお休みにも快く対応していただいている」「変更があった時でも、柔軟に快く受け入れて下さり、変更の書類を提出した際なども毎回、ご丁寧に控えとしてのコピーを渡して下さい」などの意見が寄せられました。回答の8割以上が「はい」を選択し、ほぼ7割が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	18	0	0	0
<p>回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(50.0%)、満足(44.4%)、やや満足(5.6%)〕。  「園で寝ぐせを直して下さり、横向きや仰向けでも寝れるようになった」「月齢に合わせた給食を提供し、定期的に避難訓練なども行っているので、安心して預ける事ができる」旨の意見が寄せられました。登園時の安全対策に関して、さらなる改善期待の意見が寄せられましたが、回答の全てが「はい」を選択し、半数が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	17	0	0	1
<p>回答者数18世帯中17世帯(94.4%)が「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(44.4%)、満足(38.9%)、やや満足(11.1%)〕。  「かなり前から日程を教えてもらえるので調整しやすい」「早めに日程を提示してくれているので、平日でも休みが取れば参加しやすい」などの意見が寄せられました。平日の参観に関する改善期待の意見が寄せられましたが、回答のほぼ全てが「はい」を選択し、ほぼ半数が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
8. 子どもの保育について家庭と保育施設に信頼関係があるか	18	0	0	0
<p>回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(72.2%)、満足(22.2%)、やや満足(5.6%)〕。  「その日の様子を日々伝えてくださるので、こちらからも質問や相談がしやすい」「子育ての悩みを相談した時、親身に聞いて回答して下さい心が救われた」「毎日よく様子をみてくださると思う」などの意見が寄せられました。相談体制に関する改善期待の意見が寄せられましたが、回答の全てが「はい」を選択し、7割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	17	1	0	0
<p>回答者数18世帯中17世帯(94.4%)が「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(50.0%)、満足(38.9%)、やや満足(5.6%)〕。  「季節の装飾が綺麗にされていて、清潔感がある」「おもちゃ類など、綺麗に整理整頓されている印象」「先生方のお陰様で、我が子もお片付けが上手になった」「気になることはなにもない」旨の意見が寄せられました。回答のほぼ全てが「はい」を選択し、半数が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
10. 職員の接遇・態度は適切か	18	0	0	0
<p>回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(72.2%)、満足(27.8%)〕。  「どの職員の方も、優しく、温かく、気持ちよく対応してくれる」「服装について、今までで気になった事はない」「子どもが先生方のソックスのキャラクターで喜ぶ事があり、嬉しかった」「みなさん物腰の柔らかい丁寧な方で安心できる」「皆さん明るく優しい印象」旨の意見が寄せられました。回答の全てが「はい」を選択し、7割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	18	0	0	0
<p>回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(72.2%)、満足(27.8%)〕。  「全然気にならないような、ささいなことお迎え時に報告していただいている」「熱が高めの時の検温、連絡もこまめにいただけている」「発熱した際は状況に合わせて、水分摂取やクーリングなど、早急に対応していただいているので安心している」などの意見が寄せられました。回答の全てが「はい」を選択し、7割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	15	0	0	3
<p>回答者数18世帯中15世帯(83.3%)が「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(50.0%)、満足(27.8%)、やや満足(5.6%)〕。  「子ども達がケガをしないように、常に慎重に見てくださっていると思う」旨の意見が寄せられました。回答の8割以上が「はい」を選択し、約3分の2が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。また、見聞きや経験したことがない回答者が「はい」以外を選択したことが見られることから、実際の満足度は集計値以上に高いことが推察されます。</p>				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	18	0	0	0
<p>回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(77.8%)、満足(22.2%)〕。  「イヤイヤ期の子に丁寧に寄り添ってくれている」「やりたい事、好きな事、興味や関心を持った事を見逃さず、やらせて下さったり、安全に見守って下さったりしているので、自宅でする事が沢山増えて、保護者も子どもの日々の成長に驚いている」などの意見が寄せられました。回答のほぼ全数が「はい」を選択し、7割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	17	0	0	1
<p>回答者数18世帯中17世帯(94.4%)が「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(61.1%)、満足(33.3%)〕。  「いつも真摯な対応をして下さっているので、今までで気になった事は一度もない」「情報管理等に不安をもったことはない」などの意見が寄せられました。回答のほぼ全数が「はい」を選択し、6割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	18	0	0	0
<p>回答者数18世帯全てが「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(55.6%)、満足(38.9%)、やや満足(5.6%)〕。  「連絡帳アプリの配信が楽しみ」「毎日丁寧に連絡帳に様子を書いてくださっていて、読んでほっこりしている」「毎日、我が子がどんな事を行ったのかの連絡のほか、クラス全体や園全体でやる事、やった事も説明して下さっているので安心している」などの意見が寄せられました。回答のほぼ全数が「はい」を選択し、6割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	16	0	0	2
<p>回答者数18世帯中16世帯(88.9%)が「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(61.1%)、満足(27.8%)〕。  「何か相談すると、できる限りご対応していただいていると思う」「どの先生方もどんな時でも真摯に対応して下さる」「あまり不満はない」旨の意見が寄せられました。回答のほぼ9割が「はい」を選択し、6割以上が「はい(大変満足)」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				
17. 外部の苦情窓口(行政等)にも相談できることを伝えられているか	14	1	0	3
<p>回答者数18世帯中14世帯(77.8%)が「はい」を選択しました〔内訳:大変満足(38.9%)、満足(33.3%)、やや満足(5.6%)〕。  「通園させていて、何か困った事は一度もない」「第三者が関わるような困りごとは特になかった」旨の意見が寄せられました。回答のほぼ8割が「はい」を選択したことから、利用者の満足度はとても高いことが見受けられます。</p>				





11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか

12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか

13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか

14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか

15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか

16. 利用者の不満や要望は対応されているか

17. 外部の苦情窓口(行政等)にも相談できることを伝えられているか



I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリー1～3、5～6）

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
	評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当
	●あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当
	●あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当
	●あり ○なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、行政機関等相談先に関する情報の提供をしている	○非該当
	サブカテゴリー1の講評		
	<p>園で実践している保育内容の地域発信に努め、園への理解を深めるよう図っています</p> <p>利用希望者等が情報を入手できる媒体として、ホームページがあり、保育方針や園の特徴、利用者の声などを記載しています。日々の保育の様子は写真・動画共有プラットフォームを活用して公開しています。また、入園希望の方には園を紹介する限定動画のURLを案内しています。なお、コミュニケーションアプリに公式アカウントを設定し、各種イベントや子育て支援情報などを今後発信していく予定です。インターネット検索や口コミで園の存在を知った近隣の方が、園見学の予約を入れる前に玄関のドア越しに活動の様子がわかるように配慮しています。</p> <p>利用希望者が安心して施設を選べるよう、区や児童福祉関連団体に情報提供しています</p> <p>区の担当部署と連絡を密しており、園の情報を適時提供しています。区のホームページには企業主導型保育所の概要とともに、施設名と住所、電話番号、定員、受入可能状況が掲載され、園名をクリックすると本園のホームページにアクセスします。また、保育・子育て支援・児童福祉関連事業の任意団体とも連携し、同団体のホームページから検索できるようになっています。認可外保育施設の利用を検討している、地域の子育て世帯の保護者が安心して施設を選べる環境を提供し、子どもの健全な成長を支える取り組みの一助として情報提供に努めています。</p> <p>利用希望者には、園見学を実施し園が提供する保育の特徴や良さを伝えています</p> <p>問い合わせや見学は通年で受け付けており、ホームページの問合せフォームや携帯メールから申し込んでいただくようにしています。合同説明会は月1回行い、10組までの限定とし、日程が合わなければ個別対応します。見学時には来訪者の名前と連絡先を確認し、アンケートを取り、後日の連絡に繋がっています。なお、園への問い合わせや見学は園長が主に対応し、育休中や休職中でも利用できることを伝え、日常保育の様子や英語、リトミックといった特別教育の様子などを動画に撮り説明会の時に上映するなど、園が提供する保育の特徴や良さを伝えています。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p><b>保護者に合わせた柔軟な対応で入園手続きをサポートしています</b></p> <p>園では、入園が決まった保護者の負担を軽減するため、都合の良い日に来園して園長が個別に面接を行います。また、オンライン会議システムを活用することで、来園せずに入園説明を受けることも可能です。入園前健診も、保護者の都合に合わせて嘱託医の病院で実施し、柔軟に対応しています。面談時には、入園のしおりや重要事項を丁寧に説明し、保護者の不安や疑問に対してもしっかりと対応しています。さらに、保護者の意向や園児の状況は職員会議で共有し、全体で情報を把握し適切な対応を図っています。</p> <p><b>慣らし保育を通じて入園時の不安を軽減しています</b></p> <p>入園時の不安やストレスを軽減するため、10日から2週間程度の慣らし保育を実施しています。初めは2時間の在園から始め、徐々に給食、午睡、おやつ、夕方まで時間を延ばしていくことで、子どもが安心して馴染めるよう配慮しています。慣らし保育が難しい場合は、最初は親子での入室も可能です。スケジュールは保護者の希望や就労状況にも柔軟に対応し、保護者と密に連携して家庭での様子を考慮しつつ、子どもの負担に配慮して進めています。これにより、子どもの心の安定を図り、保護者との信頼関係を築いています。</p> <p><b>不安軽減のため、退園後も連絡・訪問を歓迎し、サポートを提供しています</b></p> <p>園長は、卒園や転園、退園後も、子どもたちや保護者がいつでも園に連絡・訪問できる雰囲気作りを大切にしています。在園中に利用していた連絡アプリは退園後も継続して閲覧可能です。また、卒園や退園後にはアンケートを配信し、現在の子どもの様子や心配事を聞き取り、必要なサポートを提供できるよう努めています。このような取り組みを通じて、サービス終了を迎える子どもや保護者の不安やストレスを軽減するよう配慮しています。</p>		

サブカテゴリー3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13/13
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリー3の講評		
<p>定められた手順に従い、生活状況、成長の姿などを記録しています</p> <p>定められた手順に従い、子どもの心身や生活状況、成長の姿などを個人記録表に記録しています。入園時には保護者の保育方針や保育園に望むことを聞き、それも記録しています。また、年齢ごとに保育の目標を掲げ、毎月経過記録表を作成して成長を確認し課題を見出しています。これにより、子どもの成長を見守り、発達に応じた援助ができるように努めています。保護者とのコミュニケーションを大切にし、子どもたちの成長を援助することを図り、さらに、個々の子どもが持つ特性やニーズに応じた対応を行い、一人ひとりの成長につなげています。</p> <p>子ども一人の情報の管理と共有を図り、子どもに関わる上での共通認識に努めています</p> <p>日々の様子から得られる子ども一人ひとりの情報を記録し、職員間での共有を図り、子どもに関わる上で共通の認識になるよう努めています。日々の様子は日報書に記載し、個人ファイルに必要な情報をファイリングしています。月末には前月の子どもの姿を反映した計画を作成し、発達及び経過記録を記載します。記録や計画は職員が見やすい所に掲示して共有し、日報書、保育日誌、連絡帳を毎日職員が目を通して把握しています。特に特記事項は全職員が把握できるよう、一部の職員に情報がとどまることの無いように周知に努め、管理と共有を図っています。</p> <p>全体的な計画を基に、振り返りを反映して指導計画を立てています</p> <p>指導計画は全体的な計画を基にクラス別(年間、月案、週案)を作成し、月末に振り返りを行い前月の子どもの姿を反映した計画を立てます。2歳児までの園児には個別計画を作成し、毎月子どもの姿を振り返ります。保護者には園だよりで毎月の様子や今月のねらいを伝えます。指導計画は見直し時期・手順を定め、年度末に必要なに応じて見直します。指導計画や個人計画は職員が見やすい場所に掲示し、全職員で毎日変更状況を確認し、発達および経過記録を共有しています。また、職員間の連携を深め、子どもたちに最適な環境を提供することを目指しています。</p>		

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p>個人情報保護の順守を徹底しており、職員理解も高いことが見受けられます</p> <p>利用契約時に保護者に対して個人情報保護に関する方針を説明し、個人情報の使用に関する承諾書を取り交わします。子どもや保護者の個人情報を外部に提供する際には、この承諾書に明示している使用範囲に限定し、改めて保護者に説明し承諾を得よう仕組みを整えています。今のところ、そのような実例はありませんが、保護者が安心して利用できるよう、個人情報の取扱いには万全を期すよう努めています。また、職員には個人情報の保護について徹底して守るように日常的に指導しており、職員理解も高いことが見受けられます。</p> <p>子どものプライバシー保護や羞恥心への配慮など、尊厳を尊重した支援を行っています</p> <p>写真・動画共有プラットフォームに日常保育の写真をアップロードし、園児の日常の様子や園の雰囲気がわかるように公開していますが、子どもの顔が分からないように加工しプライバシー保護に努めています。また、着替えの際には肌の露出を最小限に抑え、おむつ交換時は人目を遮って行い、排泄に失敗した際にはさりげなく声掛けして周囲に気づかれないよう配慮するなど、子どもの羞恥心に配慮した支援を行っています。また、子どもを呼び捨てにしないなど、尊厳を尊重した対応を実践しており、より適切な支援を行うことができるよう努めています。</p> <p>人権擁護に関する職員理解がさらに深まるよう、継続的な啓発活動に取り組んでいます</p> <p>園の実情に合わせた虐待防止マニュアルを作成しており、職員は任意に読み込み理解を深めて、保育実践の中で虐待につながることを避け、自らの言動に注意を払いながら子どもに接しています。また、登園時に子どもや保護者の様子を確認し、排泄時や着替えの際に身体観察を行うなど、子どもの生活環境に気を配り、変化が認められた場合には園長に報告し、適切な対応をとるよう職員周知を徹底しています。なお、人権擁護に関するセルフチェックを年1回行っており、職員理解がさらに深まるよう継続的な啓発活動に取り組んでいます。</p>		

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
<p>職員の意見を十分取り入れ、実際の作業に沿ったマニュアルの作成に努めています</p> <p>ICT化された各種帳票への入力や更新方法、アレルギーや虐待防止など、保育業務に必要なマニュアルが作成されています。職員には保育手順を詳細に渡って指導し、新任職員には専用の手引書「仕事に就く前の心得」を手渡し、園が提供する保育への理解が深まるよう指導しています。ICT化された引き継ぎノートや連絡帳などの閲覧により、職員間での情報共有と意見交換を充分行い、実際に沿ったマニュアル作成に努めています。手順通りの作業になるよう適宜職員指導を行いなっているなど、サービスの質の標準化を図るための取り組みが行われています。</p> <p>作業手順に即した標準化されたマニュアルがあることで、業務の一貫性が図られています</p> <p>現在作成されているマニュアルや手順書について、年1回の見直しが行われ実際の保育手順との相違を確認し、変更の必要性があれば職員からの意見を聴取して、マニュアル等の更新が行われています。子どものケガが発生した場合、緊急時対応マニュアルを確認するなど、問題や支障が発生した場合た迷いが生じた場合に、マニュアルを確認するという意識が、職員に根付いてきました。実際の作業手順に即した標準化されたマニュアルがあることで業務の一貫性が堅持され、作業効率が上がリ、統一感とチームワークが高まってきたことが見受けられます。</p>		

II サービスの実施項目(サブカテゴリ-4)

サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 38/38
<p>1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(000000)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている
○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している
○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している
○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している
○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている
○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児が利用している保育施設のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている
○非該当	
評価項目1の講評	
<p>職員が子どもの興味を把握し、主体性を育む自由な遊び環境を整えています</p> <p>子どもの主体性を育むために、職員は子どもの興味をしっかり把握し、没頭できる環境を整えています。細かいカリキュラムは設定せず、子どもが自由に好きなことをできるようにしています。ままごと遊び、パズル、ブロック遊びに加え、バランスストーン、トランポリンなど静と動の遊びがバランスよく用意されており、子どもがその時の気持ちに合わせて遊びを選べるようにしています。1歳児クラスにはクレヨンと画用紙があり、自由に触れて遊ぶことができます。こうした取り組みにより、子どもたちが主体的に遊び、学べる環境が整えられています。</p> <p>トラブル対応で職員が見守り、子どもが自ら解決力を育む支援をしています</p> <p>園長は職員に、子ども同士のトラブル対応では過度に介入せず、見守ることを基本とするよう伝えていきます。職員はトラブル発生時に一方的に善悪を決めつけることなく、まず背景や状況を把握し、子どもの気持ちを丁寧に読み取って代弁することで子どもが自分の気持ちを言葉で表現できるようにサポートしています。保護者に対しても、状況をしっかりと報告し、対応方法について双方に説明し理解を得るよう努めています。これにより、子どもたちが自ら考え、問題解決の力を育む環境を提供しています。</p> <p>一人ひとりの発達・生活環境・状況を把握して保育を行っています</p> <p>園では、入園時に保護者から提出された児童票や生活状況申告書、面談での聞き取りを通じて、子どもの発達過程や生活環境を詳細に把握しています。その上で、個々の成長・発達に対応した個別保育計画を策定し、適切に実践しています。毎月、保育の目標や課題が達成されたかどうかを振り返り、職員全員で保育内容の向上に努めています。これにより、健康で安全な生活環境と情緒が安定した環境を提供し、子どもたちが安心して成長できるよう支援しています。</p>	
<p>2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(0000)</p>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している
○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している
○非該当	
●あり ○なし	3. 休息・午睡等の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している
○非該当	
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている
○非該当	
評価項目2の講評	
<p>保護者と連携し、子どもの状態を綿密に把握・共有しています</p> <p>園では、保護者との対話を大切にしており、登園時に変わった様子がなければ確認し、連絡帳アプリで家庭での様子を把握しています。個々の子どもに寄り添い、家庭と園の連続性を重視し、体調面や精神面の気になる点を記録して職員間で共有しています。保育室はパーティションで年齢ごとに区切られ、職員は随時子どもの様子を伝えあっています。登園時には検温・視診を行い、気になる点は保護者に確認し、職員全員で情報を共有し、降園時には「引継ぎ表」を用い、保育中に共有された情報も含め、担任職員以外でも保護者に正確に伝えています。</p> <p>基本的な生活習慣の大切さを伝え、保護者と連携をとりながら進めています</p> <p>おむつからパンツへの移行は保護者の意向に基づき、家庭と連携して進めています。興味を引く言葉掛けをし、子どもの気持ちを尊重しながら個々のペースに配慮しています。食事の際は、スプーンの持ち方を含め、食具の使い方を自然に身につけられるよう、遊びの中で取り入れています。基本的な生活習慣は、子どもの発達状況に応じて計画し、自主性を育む援助と見守り、保護者との連携を重視して、成功体験を積み重ねることができるよう努めています。</p> <p>午睡時間の設定や家庭との連携で子どもの健やかな成長を支援しています</p>	

園では、午睡時間を12時から14時半に設けていますが、一律ではなく、個々の状況に応じて自然な形で休息できるよう家庭との連携を重視しています。夜眠れない子どもには時間を調整し、午睡時間以外に眠そうな場合はパネルでスペースを確保するなど、適切な休息と生活リズムの調整を行い、子どもたちの健やかな成長を支援しています。さらに、0歳児は5分おきに、1～2歳児は10分おきに呼吸の様子や体の向きを目視で確認し、午睡チェック表に記録することで、乳幼児突然死症候群(SIDS)の防止を徹底し、安全を確保しています。

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもが自主的に遊び、集中できる環境作りを工夫して取り組んでいます</p> <p>子どもが自発的・自主的に遊びを選び、集中して遊べる環境を整えています。おもちゃの整理や写真を使った遊び方の工夫を行い、子どもが自分で考えて遊びを展開できるようにしています。子どもの興味関心を尊重し、散歩や遊びを計画的に取り入れ、ドキュメンテーションを通じて振り返りを行い保護者にも共有しています。また、子どもの発達に合った玩具や絵本を選定し、環境構成を適宜見直しながら、子どもの多様な関心に応じ成長を促す環境作りを努め、子どもたちが豊かに育つことを願っています。</p> <p>表現力と創造力を育む環境で、子どもたちの豊かな成長を促しています</p> <p>園では、子どもが自由に表現できる環境を提供して表現力と創造力を伸ばしています。リトミックや外国人講師による英語教育を週1回行い、耳から吸収した感性や表現力を伸ばしています。月1回の製作活動では、季節を中心としたテーマを持ち、シール貼りやペイントなどを取り入れ、多様な興味を引き出しています。また、1歳児クラスからクレヨンと紙を子どもの手の届くところに設置し、子どもが色に関心をもち、自由な表現でお絵描きを楽しめるようにしています。これにより子どもたちは健やかに成長し、豊かな表現力を育むことができます。</p> <p>毎日戸外活動を行い、季節や自然を楽しみながら遊んでいます</p> <p>保育園では、毎日戸外活動を行っており、近隣の公園や土手で季節の移り変わりを感じながら遊ぶことで、子どもたちの豊かな感性を育むことを目指しています。交通ルールを守り、地域の方へ挨拶することも大切にしており、雨の日にはレインコートを着て雨の景色を楽しむこともあります。誕生日会などの特別活動がある場合は散歩時間を短縮しますが、毎日の活動として様々な経験を提供しています。夏には玄関前にテントを張り、水遊びや氷遊びを楽しみ、公園では固定遊具で遊ぶだけでなく、木々や草花に触れる探索活動も行っています。</p>		
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの興味を引き出し、成長を支援する行事を企画・実施しています</p> <p>園では、季節ごとの行事を通じて子どもたちが楽しめる活動を企画しています。誕生日会やハロウィン、クリスマス会、節分など、絵本や写真を使って導入することで、子どもたちがイメージしやすく興味を持てるよう工夫しています。卒園遠足や親子参加のリトミック、英語活動も実施し、お店屋さんごっこでは2歳児にお店の希望を聞き、主体的に取り組む成果を喜び合う経験をしました。節分にはパネルの鬼にボールを投げる遊びや、誕生日の子どもが手型と好きなものを紹介するコーナーを行い、子どもたちの興味を引き出し、成長を支援しています。</p> <p>保護者と共に子どもの成長を喜べるように、連絡帳や写真共有サービスで伝えています</p> <p>保育園では、保護者と共に子どもの成長を喜び合い、季節を感じる行事を中心に行っています。行事の目的や成果は園だよりに掲載し、保護者の負担を軽減するため手伝いは求めていません。連絡帳アプリで子どもの様子を共有し、保護者の感想を次回の行事に反映しています。行事前にはお知らせを配布し、保護者の理解を得て家庭での会話につなげています。準備は職員が行い、年間行事予定や月の行事は園だよりで伝えています。行事の様子はドキュメンテーションや写真共有システムを通じて保護者と共有しています。</p>		



5 評価項目5 在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>夕方の保育も子どもが安心して過ごせる環境を整えています</p> <p>保育園では、17時過ぎから一つのクラスに集まって過ごし、ワンフロアのため保育形態が大きく変わることなく、日中と同じ雰囲気できちんと保護者のお迎えを待っています。子どもが部屋を決めておもちゃを持参することもあり、また、子どもが不安にならないように職員が寄り添い、安心できる言葉を掛けたり、抱っこしたりすることで気持ちに寄り添っています。玄関に保護者がいるか確認したいという子どもの気持ちを受け止め、職員と一緒に玄関まで行くこともあります。</p> <p>長時間の保育でも、楽しんで過ごせる環境になるよう工夫しています</p> <p>早朝保育や延長保育の際、日中の通常保育とは違うスペースに移動し、気分を変えて楽しんで過ごせるように配慮しています。延長保育を利用する子どもが少ないため、個別の対応に努め、好きな玩具を用意しています。朝は井草マットを用意し、子どもがゴロゴロくつろぐことのできる環境を整えています。また、朝と夜でスペースを分けて気分転換を図り、子どもが安心して過ごせるように、環境設定に細やかな配慮を行っています。子どもの気分やニーズに応じて柔軟に対応し、安心感を提供するために工夫をしています。</p>		
6 評価項目6 子どもが安全な環境のもと食事を楽しめるよう配慮している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが安全に食事をとれるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	5. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動、保護者や地域の多様な関係者との連携等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが安全に楽しく食事できるような環境を整えています</p> <p>安全に食事を摂れるよう、食材の形状に細心の注意を払い、アットホームな雰囲気作りに努めています。月案の食事計画では楽しんで食事できることを重要視しており、無理強いせず、声を掛けながら好きなものを好きな分量だけ食べてもらうようにしています。食事時間は約30分の目安はありますが、時間で区切らずバランスよく食べてほしいという思いがあり、個々のペースに応じた座席位置を工夫するなど環境を整えています。床に足が届かない子には手製の足置きやクッションを用意し、椅子が滑らないように滑り止めマットを敷いています。</p> <p>子どもの食事の様子を見て食材の大きさや味付けに工夫をしています</p> <p>昼食のメニューを委託業者の栄養士が作成し、園内の厨房で調理しています。食物アレルギーのある子どもには除去食に対応し、発達に応じた配慮を行っています。月ごとに変わるメニューは薄味の味付けや食べやすい大きさにカットされた食材、工夫された野菜の盛り付けが特徴です。離乳食から幼児食への移行は発達状況に応じて個々に保護者と連携して進めています。おやつメニューは調理担当者が決め、喫食状況を動画で確認して参考にすることもあり、季節の材料を取り入れ、子どもたちが楽しく安心して食事できる環境を提供しています。</p> <p>子どもたちの食への関心を高める食育活動に取り組んでいます</p> <p>園では、食育活動を通じて子どもたちの食への関心を高める取り組みを行っており、食材を見せたり、野菜スタンプでれんこんやししとう、さつまいもを使用した製作活動を行ったりしています。2歳児は、豆苗やブロッコリースプラウトを育て、トウモロコシの皮むきやすいか割りなどの活動により食材を通して季節を感じる経験をしています。行事食を提供し、子どもたちが楽しみながら学べる環境を整え、今後も食材に触れる機会を多く設けていきたいとしています。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している	○非該当

評価項目7の講評

**保健活動を通じて子どもたちの健康意識を高めています**  
園では、子どもへの保健活動を通じて健康意識を高める取り組みを行っています。手洗い場には正しい手洗い方法の写真を貼り、石鹸を手の甲にもつけるよう促し、洗い終わった後はペーパータオルで丁寧に拭いて、自分でゴミ箱に捨てるよう指導しています。また、歯磨きの大切さを伝えるために絵本を読み聞かせています。年に2回の内科健診と1回の歯科健診を実施し、欠席した子どもには保護者に受診を依頼しています。感染症予防のための手洗い指導を行い、保健指導の幅を広げて子どもが自分の健康に関心を持てるよう努めています。

**午睡時は年齢に合わせて定刻ごとに顔色・呼吸・姿勢などを確認しています**  
午睡時は年齢に合わせて、一人ずつ胸に手を当てて呼吸の確認を行っています。チェック担当者は午睡チェックに専念するために担当者カードを首からかけています。姿勢の向きはICTアプリに入力して記録し、午睡中の咳など体調面で気になることは引継ぎ表に記入して、保護者に伝えています。午睡時間中の室内の明るさにも配慮し、子どもの顔色が見える明るさにしています。また、室内にはSIDS防止のポスターが掲示しており、午睡時の事故防止について職員の意識を高める工夫をしています。

**健康情報を共有し、迅速な対応体制を整備しています**  
救急用品の準備やAEDの配置に加え、職員ほぼ全員が普通救命講習を受講し、子どもの体調変化に迅速に対応できる体制を整えています。また、連絡帳アプリを活用し、乳幼児突然死症候群や感染症の情報を保護者に伝えています。掲示物やおたよりを通じて健康情報を共有し、保護者と連携して子どもの健康維持に取り組んでいます。感染症の発症時にはアプリ配信で早期発見を促し、入園前の保護者面談では健康状態や服薬の有無を丁寧に聞き取り、不安の解消に努めています。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、保育施設の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

**保護者の就労状況に応じて個々の事情に柔軟に対応し、信頼関係の深耕に努めています**  
保護者とのコミュニケーションを重視し、送迎時の小さな変化にも気付けるように丁寧な対応を心掛けています。保護者の方々が子育てに関することや家庭の事情などについて話しやすく、相談しやすい雰囲気作りを努めています。また、日々の子どもたちの様子や日中の活動、健康状態について詳細に連絡帳に記入し、保護者の方々に安心感を提供しています。定期利用保育で契約期間が決まっているため、毎月変更の受け入れを行うなど、保護者の就労状況に応じて個々の事情に柔軟に対応し、保護者との信頼関係を深めるよう取り組んでいます。

**保護者との信頼関係を重視し、負担軽減と保護者同士の交流機会の提供に努めています**  
保護者の就労支援の充実に重点を置き、園への負担感を軽減するため、保護者会や行事等の活動は極力実施しない方針です。しかしながら、保育参加は年1回実施しており、保護者の方々が交流できる機会を創出しています。この取り組みを通じて、園と保護者、そして保護者同士の絆が深まり、保育園で過ごす子どもたちに対する共通の理解が生まれ、信頼関係が築かれていることが見受けられます。保護者同士の絆を深め、園での子どもたちの楽しい時間をより充実させるための協力体制を構築する場として、積極的に取り組んでいます。

**保護者とのコミュニケーションを重視し、情報共有と理解促進を図っています**  
お便りや連絡帳を通じて、子ども達の日常や具体的な活動内容を保護者に詳細に伝えています。降園時には、子どもの一日の様子を保護者に丁寧に伝え、保護者からの悩みを共に考え、子どもの成長を一緒に喜び合える関係性が作れるよう、積極的にコミュニケーションを取るよう努めています。また、園だより・保健だより・献立表をいずれも月1回発行しています。これらの取り組みを通じて、園への保護者の理解のもと、子どもたちが安心して楽しく過ごせる環境を整備し、保護者との共通理解を深めるよう取り組んでおり、連携強化に努めています。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 保育施設の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域資源の活用と地域交流を通じ、子どもの多様な経験を促すよう取り組んでいます</p> <p>荒天でない限り戸外遊びや散歩に出掛け、自然との触れ合いや砂場遊び、鬼ごっこなどの目的に応じて、樹木の多い公園、河川敷の土手、広場がある公園、砂場がある公園など、行き先を替えています。さらに、近隣の児童館へ遊びに行ったり、小学校の運動会を見学したり、地域のお祭りで山車を見たりしています。また、ハロウィンでは仮装して近隣を回りました。日々の戸外活動を通じて、日常生活では得られない多様な経験を積み、社会性や安全意識の向上を図るなど、子どもの生活の幅を広げるため、地域資源の活用と地域交流に努めています。</p> <p>地域との関わりを深めることで、子ども達の生活の幅を広げ、成長環境を整えています</p> <p>子ども達と地域との関わりを深めることを目的に、地域交流や地域資源の最善の活用方法を職員間で検討し、計画的に実践しています。土曜日保育や、天候が悪く戸外活動や散歩ができない日には、近隣の児童館に向き、遊戯室で三輪車などの遊具や珍しいおもちゃ、絵本などを用いて遊びます。また、近隣の方々との交流の中で、飼っているインコを見せていただいたり、めだかをいただいたりしながら、楽しく交流しています。地域との関わりを深めることで、子ども達の生活の幅を広げ、多様な経験を通じて成長できる環境を整えています。</p>		

Ⅲ 利用者保護に関する項目

利用者保護に関する項目		標準項目実施状況	9/9
1 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
2 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
3 評価項目3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		○非該当
利用者保護の講評(※利用者保護の内容から3つ(必須)記載してください)			
<p>登降園時やアンケートなどで保護者意向を把握し、迅速に対応する仕組みを整えています</p> <p>苦情解決制度や、事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることについて、契約時に重要事項説明書を明示しながら口頭説明を加え、保護者の理解が深まるよう努めています。玄関にも掲示し、保護者への浸透を図っています。保護者の意向の把握については、日々の連絡帳のやり取りや登降園時の保護者とのコミュニケーション、年2回実施する保育参観時、進級時や卒園時に行われる年1回の保護者アンケートなどで把握し、不満や苦情を把握次第、速やかに上席に伝え速やかに対応する仕組みを整えています。</p> <p>虐待防止に関する意見交換の場を持つことが課題であり、その実現が期待されます</p> <p>虐待防止に関するマニュアルは作成しており、職員各々が任意に読み込み理解を深めています。保育実践の中で虐待につながることはないよう、自らの言動に注意を払いながら子どもに接しています。また、人権擁護に関するセルフチェックを年1回実施し、職員間でのコミュニケーションにより、相互作用が働き虐待の芽になるような言動は一切見られません。なお、虐待防止マニュアルは個別に読むだけでなく、読み合わせて意見交換も行い、セルフチェックの結果についても話し合いの場を持ちたいとしており、その実現に向けた取り組みが期待されます。</p> <p>事業継続計画の職員の理解度を確認し、リスク管理体制を強化することが期待されます</p> <p>事故や感染症、外部からの侵入、災害などの発生時の対応方法など、緊急対応マニュアルを作成しており、職員各々が任意に読み込み理解を深めています。事故が発生した場合、監視カメラによる再確認および職員との会話を通して原因分析、対策検討を行っています。なお、危機管理マニュアルとともに事業継続計画(BCP)が策定されており、全職員に対して周知徹底が図られていますが、緊急事態において職員が迅速かつ的確に対応できることを保証し、全体としてのリスク管理体制の効果を高めるためにも、職員の浸透度合いを確認することが望まれます。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	表現力と創造力を育む環境で、英語とリトミック教育を実施しています	
内容①	子どもたちが自由に表現できる環境を整え、表現力と創造力を育むことを重視しています。毎週1回行われるリトミックや外国人講師による英語教育を通じて、感性やコミュニケーション能力を向上させる活動を展開しています。また、教育活動全体で子どもたちの個性を尊重し、自己表現を促進することに力を入れています。これにより、子どもたちの健やかな成長と豊かな表現力をサポートし、保育の質の向上に寄与しています。加えて、遊びや体験学習を取り入れることで、子どもたちが自ら学び、考え、表現する力を育む環境を提供しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目		
タイトル②		
内容②		

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目		
タイトル③		
内容③		

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの感性や表現力を伸ばし、就労支援と子育ての取り組みにも力を入れ、良質な保育を提供し子どもの健全な成長・発達を促しています
	内容	子ども達の自主性を尊重しながら、いろいろな経験を通して子どもの「やってみたい」という気持ちを育てていくことを園の保育理念とし、職員は、子どもの言動や意思、個別の成長を尊重し、信頼関係を深めながらアットホームな雰囲気の中で保育を行っています。特に、教育的観点から外国人講師による英語指導や音楽大学出身の講師によるリトミックを実施し、子どもの感性や表現力を伸ばしています。また、就労支援と子育ての取り組みに力を入れ、良質な保育を提供することで子どもの成長・発達を促進しています。
2	タイトル	育児が困難な状況の家庭の利用可能範囲を広くし、保護者の就労状況に合わせた保育サービスを展開しており、保護者の納得性を高めています
	内容	区の担当部署から支給認定書を交付された世帯のほかに、育児が困難な状況の家庭（休職中、産前産後の育児中、看護、介護、病気療養中）でも利用可能です。子育てをしながら就労する家庭の個別の悩みを解消し、孤独感を軽減するために、保育サービスを提供しています。保護者をお願いする持参物は最小限に抑え、長時間保育やスポット利用の延長保育、保護者に来ていただく行事は、年2回の保育参観のみにしているなど、保護者の就労状況に合わせたサービスを展開し、保護者の満足度を高めています。
3	タイトル	子どもたちの成長と学びの記録を行い、保護者に共有して保育の質を向上させ、全体的な保育環境を改善しています
	内容	子ども達の成長と学びの記録を日々行い、保護者との連携強化を図るために、1日の保育内容や写真を掲載している「ドキュメンテーション」を作成し、毎日更新しています。これらの記録は写真付きでクラスごとにまとめられ、連絡帳アプリを通じて保護者に共有されるほか、玄関にも掲示されています。これにより、保護者は子どもたちの成長を理解しやすくなり、保育者はこれをもとに次の保育計画を立てるための重要な資料として活用しています。この取り組みは、保育の質の向上に大いに寄与しており、全体的な保育環境の改善にもつながっています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	指導計画の共有で透明性を高め、保護者が保育の整合性を実感し信頼をさらに深め、安心して利用できる環境を一層整えることが期待されます
	内容	毎日更新されるドキュメンテーションにより、保護者の園への理解が深まり、満足度が高まっています。保護者の理解をさらに深めるため、指導計画の共有を図り、園の方針や教育内容の透明性を高めることが期待されます。保育のねらいや実践が理解できる写真や動画の解説付きで伝えるデジタルマーケティングの強化、施設見学会、個別相談の実施などを通じ、指導計画の整合性を実感していただくことで、園の魅力をより一層理解し、信頼性を深めていただき、保護者が安心して子どもを預ける環境を一層整え、園児確保につなげることを期待されます。
2	タイトル	さらなる業務標準化に向けて、職員主体でマニュアルの見直しに取り組み、チームワークの強化と同僚性の醸成を図ることが期待されます
	内容	保育業務に関するマニュアルの策定において、職員間で協議を重ね実務通りのマニュアルを整備し、判断に迷った場合や確認したい時に、マニュアルを確認することが習慣付けられました。また、事故が起きた際、監視カメラで記録したビデオを確認しながら客観的に何がいけなかったか、職員同士が会話できる機会を持ったなど、業務標準化の充実に努めました。マニュアルの見直しは年1回行われていますが、業務標準化の重要性を実感しつつある現状を鑑み、職員が主体となって取り組み、チームワークの強化と同僚性の醸成を図ることが期待されます。
3	タイトル	
	内容	